

【令和2年度 政策・調整会議】

件名：臨海部の交通機能強化に向けた実施方針（案）の策定について

日時：令和2年12月1日（火）10：54～10：59

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

川崎臨海部が持続的な発展を目指す将来像として掲げる「臨海部ビジョン」に基づき、臨海部の発展を支える交通機能の強化を図るため、臨海部が目指す交通ネットワークの将来像と、これを構成する基幹的交通軸及び各交通拠点の役割や機能、中長期的な交通機能強化に向けた方向性を示し、臨海部の交通機能強化に向けた取組を促進するため。

●付議概要

臨海部の交通機能強化に向けた実施方針を案としてとりまとめ、広く市民意見を募集する。

1 現状と課題

- ・通勤者の多くが利用する川崎駅発着の路線バスについて、ピーク時のバス車内の混雑や所要時間の長さ等の利用環境や、川崎駅東口駅前広場の混雑や長蛇の乗車待ち列といった通勤環境の改善
- ・今後、更なる就業者の増加が見込まれる東扇島への通勤需要への対応
- ・臨海部就業者全体の約10%が利用し、マイカー利用を抑制する企業送迎バスの適正な利活用

2 臨海部の交通機能強化の方向性

- ・臨海部ビジョン：基幹的交通軸の整備、円滑な移動の実現、誰もが快適に感じる交通環境の実現等
- ・川崎市総合都市交通計画：既存インフラの活用、路線バスの機能強化、交通結節機能の強化等
- ・各拠点間を結ぶ基幹的交通軸や交通拠点の整備とともに、交通結節機能の強化と端末交通が充実する交通ネットワークの形成を図る。

3 今後の取組

- ・臨海部の円滑な移動等の実現を目指し、効率的な移動を可能にするため、新たな交通ネットワーク形成に向けて、4つの交通拠点と拠点間を結ぶ4つの基幹的交通軸の整備を進める。
- ・臨海部中央軸において、まずは川崎駅から水江町間に基幹的交通軸として、本市初となるBRTの導入を図り、通勤環境の改善と新たな交通ネットワーク形成に向けた足掛かりとする。
- ・良好な通勤環境を備え、マイカー通勤を抑制する企業送迎バスについて、公共交通を補完する端末交通として、適正な利活用を図る。

●主な意見等

- ・将来の交通機能強化に向けては、交通事業者等との調整が必要なことから、関係局と連携を図りながら取組を進めること。

●結論

案のとおり了承。